

第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)貸与終期訂正願(延長)

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿

私は、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。つきましては、返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

■奨学生本人欄 ※氏名は自署が必要です。原本を郵送で提出してください。

| | | | | | | | | | | |
|-------|------|---|---|---|------|---------|---|---|---|-------|
| 記入日 | (西暦) | 年 | 月 | 日 | 生年月日 | (西暦) | 年 | 月 | 日 | (満 歳) |
| 奨学生番号 | | | | | フリガナ | | | | | |
| 6 | | 0 | 6 | | 氏名 | (自署) | | | | |
| 学校名 | | | | | | 学部・研究科名 | | | | |
| | | | | | | | | | | |

■訂正内容

(1) 貸与終期

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|---|--|--|---|--|--|---|---|---------|---|---|--|--|---|--|--|---|
| 訂正前の 貸与終期 | 2 | 0 | | | 年 | | | 月 | ⇒ | 正しい貸与終期 | 2 | 0 | | | 年 | | | 月 |
|--------------|---|---|--|--|---|--|--|---|---|---------|---|---|--|--|---|--|--|---|

貸与終期の延長を願ひ出る理由

海外留学支援制度の支援期間が変更になったため

詳細：

(注) 貸与終期の延長に伴い、保証料月額が変更となります。

(2) 借用金額

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 借用金額(予定) | | | | | | | | | | 円 |
|----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|

※「借用金額」は、貸与終期訂正前に予定していた借用金額と、貸与終期を延長することで貸与される金額の合計金額を記入してください。採用時に入学時特別増額貸与奨学金を貸与している場合は、当該金額を含めて記入してください(裏面「借用金額の記入例」を参照)
※借用金額を誤って記入した場合は、裏面「借用金額の訂正方法」に従って訂正してください。

■連帯保証人・保証人記入欄

| | | | |
|----------------|---|------------|----------------|
| 連帯保証人 機構届出の | 私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。 | 住所 〒 _____ | 電話番号 () _____ |
| | 氏名(自署) | 実印 | 生年月日(西暦) 年 月 日 |
| 保証人 機構届出の | 私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、本人が返還すべき返還未済額の3分の1を保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。 | 住所 〒 _____ | 電話番号 () _____ |
| | 氏名(自署) | 実印 | 生年月日(西暦) 年 月 日 |

(注) 連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)の添付が必要です。
機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人変更届」を提出してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

[様式11-3裏]

添付書類

- 海外留学支援制度の支援期間が延長されることが確認できる書類（コピー可）
- 連帯保証人の印鑑登録証明書（原本）
- 保証人の印鑑登録証明書（原本）

提出期限

- 貸与終了月の3か月前

借用金額の記入例

例) 入学時特別増額貸与奨学金：30万円
貸与月額：5万円
当初の貸与期間：2024年4月～2026年3月（24か月）
延長分の貸与期間：2026年4月～2027年3月（12か月）

【計算式】

| | | |
|-----------------|---------------|------------|
| ① 入学時特別増額貸与奨学金： | | 300,000円 |
| ② 当初の貸与金額： | 50,000円×24か月＝ | 1,200,000円 |
| ③ 延長分の貸与金額： | 50,000円×12か月＝ | 600,000円 |
| ①～③の合計 | | 2,100,000円 |

借用金額の訂正方法

「借用金額」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正してください。

- ① 本人署名横に本人印を押印する。

| | |
|------------|--|
| フリガナ | キコウ タロウ |
| 氏名 (自署) | 機構 太郎 奨学 |

- ② 金額全体（1円の単位までのすべての数字）を二重線で消す。一部訂正不可。

| | |
|--------------|------------------------------|
| 借用金額 (予定) | 1 2 0 0 0 0 0 0 円 |
|--------------|------------------------------|

- ③ 二重線の上から、本人印（本人署名横同一印）、連帯保証人実印、保証人実印を訂正印として押す。
※それぞれの印が重ならないように押印してください。

| | |
|--------------|--|
| 借用金額 (予定) | 1 2 0 0 0 0 0 0 円 |
| | 奨学 機構 太郎 明機 子樹 |
| | 本人 連帯保証人 保証人 |

- ④ 余白に正しい借用金額を記入する。

| | |
|--------------|--|
| 借用金額 (予定) | 2 1 0 0 0 0 0 0 円 |
| | 奨学 機構 太郎 明機 子樹 |
| | 本人 連帯保証人 保証人 |